

## 「ステキな帽子」

配られた紙が、水色と黄色だったので水色と黄色でみんなが知っているもの、と考えた結果、ミニオンになりました。

そのままの姿を再現できるように、各パーツのデザインを相談し、帽子のつばをオーバーオールにする工夫などを施し完成することが出来ました。



# PORTICO

Niigata College of Nursing

新潟県立看護大学ニュース ポルティコの広場

vol.33  
2018.7

毎年恒例の学外オリエンテーションは、4月13日(金)・14日(土)に黒姫ライジングサンホテルで行われました。参加者は新1年生の他、上級生11人、教職員13人の総勢119人でした。学外オリエンテーションの1日目は、学内でインディアカというスポーツを楽しんだ後、ホテルに出発しました。到着後、宿泊部屋グループで「ステキな帽子」を作成し、グループごとに行われる他己紹介時に、帽子のチャームポイントを紹介しました。2日目は、これからどんな大学生活を送りたいかをみんなで作りました。ここでは、上級生から大学生活を楽しく送る秘訣も伝授されました。

33号の表紙を飾った帽子は、限られた材料の中で、メンバー5人の知恵と工夫により作られ、人気投票で見事第1位に輝きました。



## 「新入生へのメッセージ」

学生委員会委員長 酒井 禎子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学して2か月余りが過ぎ、大学には慣れましたか？学生委員会は、毎年、新入生対象の1泊2日の学外オリエンテーションを企画しています。この学外オリエンテーションでは、新入生の皆さんの親睦を深めることはもちろんのこと、グループで行うスポーツやワークなどを通して、チームで協力しながら1つの目標に向かっていく「チームアプローチ」や、そのグループのメンバーの一員として役割を果たしていくための「メンバーシップ」「リーダーシップ」を学ぶスタートラインにしてほしいということも期待しています。

皆さんがこれからめざそうとしている看護職の働く場は、看護職と

他の多くの職種が連携して人々のケアに取り組んでいます。チームの中で周りの人々と協力しあいながら、よりよいケアを提供していく力を育てるために、大学の学習活動では、多くのグループワークも体験すると思います。入学して出会った仲間たちとの絆を深めるとともに、4年間の講義や演習・実習などのさまざまな学習を通じて「チームアプローチ」の力を育ててください。

今年の1年生は、学外オリエンテーションの時も、学内でお会いしても、元気な挨拶と笑顔で接してくれてとても嬉しく思っています。素敵なお顔を卒業の日を迎えるまで、毎日楽しい大学生活になりますように、学生委員会をはじめ教職員一同応援していきたいと思ひます。

index

もくじ

- |   |                     |                                |
|---|---------------------|--------------------------------|
| 1 ステキな帽子<br>新入生へのメッセージ                  | 3 国際交流海外研修          | 6 学生生活アンケート<br>継燈式             |
| 2 学生生活への意気込み<br>新入生への歓迎の言葉<br>大学院博士後期課程 | 4 新任教員紹介            | 7 研究室訪問                        |
|   | 5 事務職員紹介<br>科研費採択状況 | 8 オープンキャンパス<br>いきいきサロン<br>編集後記 |

## 学生生活への意気込み

1年

これからの4年間は、サークルやバイトも頑張りつつ、学業もおこたることなく1度しか味わえない大学生活を、友達と楽しんでいきたいと思っています。将来は、看護師としてこの大学で学んだことを十分に活かしていきたいように努力していきたいです。

1年

これから4年間、後悔しない大学生活を過ごしたいです。将来は訪問看護師を目指しているので、様々な価値観が受け入れられるように友達や先輩など多くの方と触れ合っていきたいです。学習面では看護師になってから活かせるように、仲間と切磋琢磨して頑張っていこうと思います。

1年

今だからこそ経験できることを味わえる4年間にしたいと考えています。将来は救急科で看護師として働きたいと考えています。



1年

私は大学生活でなるべく多くのことを身につけたいと考えています。学習面に関わらず興味のないことや嫌だと感じることも多くあると思いますが、それらにも積極的に、いつか必ず役に立つと思いついて臨みたいと考えています。

1年

春から一人暮らしを始めて、生活の全てを自分でしなければならなくなり、毎日が慌ただしく過ぎていきます。これから勉強面でも忙しくなるとは思いますが、充実した4年間にするために様々なことを体験していきたいです。

## 新生への歓迎の言葉



平成29年度自治会長

### 看護大学での学び

1年生の皆さん、入学してから3か月が過ぎようとしています。少しずつ看護系の授業やテストが始まり、大学生活にやりがいを感じている学生が多い頃ではないでしょうか。1年生で習う基礎科目は今後始まる演習や実習に欠かせない知識や技術となります。コツコツと勉強し、知識や技術をどんどん自分のものにしてほしいと思います。また、学習するうえで生じた疑問を追求し続けてほしいと思います。1年生は8月から約2か月間の夏休みが始まります。2か月間の長い夏休みがあるのは1年生だけです。

また、こんなに長い時間を自由に使える夏休みは今後の人生でそうはないでしょう。4月から突っ走ってきた体や心を休ませるとともに、たくさんのことに挑戦してほし

いと思います。私は特にいろいろな場所に足を運んでほしいと思います。いろいろな場所に行き、たくさんの人と触れ合うことで多くの刺激を受け、自分には無い視点や感性を育ててほしいと思います。この夏、大学1年生の夏休みを大切にしてほしいと思います。夏休みが過ぎるとふれあい実習や大学祭があります。ふれあい実習は初めての実習です。ドキドキしている学生が多いのではないのでしょうか。私はふれあい実習で多くの刺激を受けたことを今でも覚えています。自分の住む地域から足を踏み出し、他の地域に行きその地域に住む人の視点で日々の生活を考えたり、伝統工芸の体験をすることで多くの気づきがあると思います。楽しみにしてください。11月には大学祭があります。大学祭は学生が主体となり、一から創り上げます。今年もアイデアを出し合い素晴らしい大学祭にしましょう。

学年が上がるにつれ、テストや実習に対する不安や悩みが出てくるかもしれませんが、そんな時には友達や先輩を頼ってください。同じ志をもつ者同士助け合いが大切です。看護大生としての誇りをもち、有意義な大学生活にしていきたいです。

## 大学院博士後期課程

本年、4月、本学大学院は博士後期課程を開設し、既に4名の大学院生が入学しました。4名の大学院生は、職業と学業の並進、遠距離からの通学など、様々な状況を調整しつつ、授業を履修し、研究の準備を整えております。第1回生は、先輩もおらず、一つ一つ手探りで研究、学習を進めることを余儀なくされます。そのような学生と共同して、1回生のみならず未来の博士後期課程の学生のためにもよりよい教育のあり方を追求し具現化していきたいと考えております。

## 大学院に入学して

大学院 看護学研究科 研究科長 舟島 なをみ

大学院博士後期課程1年

今回私は大学院の博士後期課程で学ぶ機会を得ました。今はもう授業も始まっており、まだまだ至らない自分の未熟さを痛感しているところです。この得られた機会を生かし、研究者として成長していきたいと思っています！

大学院博士後期課程1年

大学院生活では、学業と仕事、私生活の調整に苦慮しつつ、自分自身の学修不足を痛感し、毎日が学修の連続と感じる日々です。ともに一生懸命学修する仲間とディスカッションできる場に感謝し、奮起して学修しています。

大学院博士後期課程1年

大学院博士後期課程の講義内容は、どれもレベルが高く、充実した日々を過ごしています。私の研究テーマは自死遺族支援ですが、博士後期課程の1回生として研究をやり遂げて、新潟県の自殺対策に貢献したいと考えています。

大学院博士後期課程1年

博士課程前期(当時修士)・後期共に1回生として入学致しました。講義を通して、教育・研究者としての能力不足を感じることも多々ありますが、先生方のご指導や同期の院生から新たな学びを得る喜びを感じています。





## ニュージーランド研修を終えて

3年

3月後半の2週間、ニュージーランドの海外研修に行ってきました。現地では留学先のクライストチャーチ工科大学(ARA)でのプログラムを中心に、充実した日々を送りました。平日の午前はARAの講師に英語を教わり、午後は主に施設・病院見学や医療従事者の方にお話を聞きました。

その中で患者の希望の尊重をしていたことが印象に残っています。私たちが見学した病院ではペットが可能で、ピアノも自由に弾けます。施設では趣味の園芸や料理を自由に行え、そのために充実した空間が整備されています。看護師は「患者のやりたいこと、求めていること」を最優先で行い、患者が医療従事者に対し好みを自由に発言できるよう配慮されていると感じました。

また基本的に日本は誰もが平等に医療を受けられるよう整備されていますがニュージーランドでは医療はサービスであって個々で選択するものである、という印象がありました。このように、現地を知ることで日本のことを客観視できることも海外研修の特徴であると感じました。

ホームステイも良い思い出です。ホストファミリーとの会話は楽しくて毎日笑顔が絶えませんでした。放課後や休日にドライブや映画、観光に出かけるなどホストファミリーとの生活はとても充実していました。特に、ラム肉のステーキや、ケーキなど、一緒に料理をしたことが思い出深いです。

海外経験のなかった私にとって英語で生活するのは不安でしたが、それを乗り越えて積極的に現地の方々と関わることができて、すごく良い経験になったと思います。



## ニュージーランド研修を引率して



副学長

長谷川 雅美

2018年3月14日から2週間の予定で、本学の1年生から3年生計10名の学生と共にニュージーランドのクライストチャーチ工科大学(通称ARA)での研修に参加してきました。

本学初の研修場所であったため、大学の責任者として、また看護教員として私が同行することになりました。もう1人の引率者でこの研修の企画者でもある地元出身のエルダトン先生の強力なガイドと心配りの下、滞在期間中大きなトラブルもなく、皆元気に帰国することができました。

クライストチャーチは東日本大震災とほぼ同時期に地震の被害に見舞われており、あちこちにその爪痕が痛々しく残ってい

ました。しかし、街全体が美しく治安のよい所で、何よりも研修先のARAのスタッフの対応が洗練されており、些細なトラブルにもすぐに私達と連携した対応をして頂きました。

学生達はホームステイを初体験しましたが、ホストファミリーもフレンドリーで温かいもてなしを受け、お弁当も準備してもらうなど異文化体験を通じて幅広い学びの機会になったと思います。休日はクライストチャーチの観光も楽しみました。

私がリクエストした看護研修内容をほぼメニューに入れて頂きましたが、教員として学んだことは教育方法でした。特に感心したのは、英語担当の先生がインターネットの活用、他の外国人クラスとの交流などを取り入れ、実に巧みに学生が自然に無理なく授業に自ら参加できるよう工夫されていたことです。本学でもぜひ導入したいと思いました。

今回の研修は、学生たちにとって居心地の良い、そして実りある研修になったと確信しています。

# 新任教員紹介



臨床看護学領域 成人看護学  
准教授 樺澤 三奈子

この4月に着任しました、成人看護学の樺澤三奈子と申します。私は本学が開学した翌年から3年間、助手として本学に勤務しておりました。その後、千葉、東京、静岡で進学・大学勤務を経て、このたび12年ぶりに本学に戻ってまいりました。生まれ育った新潟、そして懐かしい上越に戻ることで、大変うれしく思っております。

私の専門領域は、成人看護学、特にがん看護学、慢性看護学です。私は看護師・研究者として臨床現場に立つとき、がん

とともに生きる人々が、その診断と様々な治療をしなやかに受けとめて適応していく力強さにいつもハッとさせられます。人は自立してたくましく生きる力を潜在的にもっているのですね。その力を発揮するためのよりよい看護支援を迫っています。

現在、学部生、大学院生のみなさんと授業で関わっています。みなさんもまた、自ら学ぶ力を持っているはず。皆さんがもてる力を存分に発揮できるように努めてまいります。



臨床看護学領域 母性・助産看護学  
准教授 阿部 正子

「ポルティコの広場」の読者の皆様、初めまして。私は大阪で生まれ、4歳から看護学校を卒業するまで上越市で育ちました。その後、助産師免許をとり、東京で通算8年間、看護実践を行いました。その間にイギリス留学や仕事をしながら夜は大学で学ぶ日々を過ごしました。大学卒業後は大学院に進学し、母性看護について様々な理論に基づいた支援を仲間や先輩と討論しました。今から20年前のことです。そのころは生殖補助医療の進歩が目覚ましい時期でもありました。しかし

皆が妊娠・出産できるとは限らない不確実な医療のため、期待と不安を抱きながら通院している夫婦の苦悩は大きいものでした。私は今、不妊カウンセラーとしてそうした方の個別相談に携わっています。今後は、実践活動や看護教育を通じて後輩にモデルを示せるよう努力する所存です。どうぞよろしくお願いたします。



地域生活看護領域 老年看護学  
准教授 小池 潤

4月から老年看護学に着任しました。上越市での生活は初めてです。春の寒さには驚きましたが、満開の桜が一面に眺められ、大学周辺は山に囲まれた緑豊かな素晴らしい環境だと思っています。

私は臨床では看護師経験の方が長いのですが、保健師も経験しました。言葉で表現できない苦痛や不快感を察知できる看護師を目指して実践してきました。10年くらい前からは、患者さんへの看護実践だけでなく、新人看護師や中堅看護師

の教育を担当するようになりました。また、病院でのシステム開発や新しい診療科の立ち上げも担当し、多職種連携を実現するために院内の多職種を理解することからはじめて、連携体制作りに奮闘した時期もありました。看護師は、様々な役割や能力が求められるものだと感じています。

これまでの経験を役立てられるように頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。



基礎看護学領域 基礎看護学  
助教 山岸 美奈子

はじめまして。4月から基礎看護学領域の助教に着任しました山岸美奈子と申します。

私は新潟市の出身ですが、家族で海水浴やスキーによく出かけていたので、幼い頃より上越の海や山に頻りに訪れていました。また、バテンレースを作ることが趣味ということもあり、上越に親しみを感じています。数年住んだ経験もあるので、またこの地に来ることができ嬉しく思っています。

臨床では主に集中治療室や救命救急センターに勤務していました。日々多くの救急搬送があり、危機的状況からの脱却が何より最優先となる場所ではありますが、患者さんが思考や行動を制限された状況に置かれているからこそ、尊厳の尊重を忘れてはならないことを痛感する場所でもありました。厳しく辛い経験もありましたが、その分、患者さんが回復して一般病

棟に移動できたときや、生命の危機に瀕し声を聴くこともできなかった患者さんが、数ヶ月後や数年後に「お世話になりました。」と会いに来てくださり、笑顔で話しをする姿を見ることができたときはこの上ない嬉しさでいっぱいになり、看護師を続けていて良かったと心から思う瞬間でした。医療の現場は様々ですが、看護師を目指す学生の皆さんには、どのような状況でも患者さんを思いやる心と寄り添う態度を忘れずに、自分を律する強い心を持ち続けてほしいと願っています。自身の臨床での経験が、学生さんたちの学びや成長に少しでも役立てばと考えております。

教員としては初心者であり、至らぬ点が多々ありますが、領域の先生方をはじめ教職員の皆様にご指導を賜り、日々努力してまいります。どうぞよろしくお願いたします。



事務局次長兼総務課長  
佐藤 一敏

4月に着任した佐藤でございます。県では、30有余年、総務・人事・労務管理をはじめ、大型店の出店規制、県のイメージアップ広報、民間シンクタンクへの長期派遣など様々な仕事に就いてまいりましたが、今改めて数えると名刺に「総務」の2文字を刷り込んだのは7所属19年にわた

り、今回で8所属目となりました。

これまでの経験を活かし、微力ではございますが少しでもお役に立てればと思っております。御指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



総務課経営企画係長  
金津 和利

はじめまして。4月から総務課経営企画係に配属となりました。主に上越地域の県の機関で勤務しており、今回初めて看護大学で勤務いたします。

第一期中期目標期間が終了し第2期中期目標期間へと移り変わる年度のなかで様々な業務に携わっており、周り

の皆様から助けていただきながら仕事をしております。

初めてのことばかりで毎日が緊張の連続ですが一歩一歩業務を覚えていきたいと思っております。

よろしくお願いたします。



教務学生課図書学生係長  
亀井 宣幸

4月1日付けで、図書学生係長になりました亀井宣幸と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本学着任前にも、大学事務職員として38年間勤務してまいりましたが、学生さんと直接対応する職務が少なかったため、現在の仕事は毎日がとても新鮮です。

高い志を抱いて本学に入学した学生の皆さん、その夢を叶えるためのお手伝いが少しでもできれば、と思っています。困ったことがあったら、いつでも図書学生係にお越しください。

## 科研費採択状況

### 平成30年度科学研究費採択課題一覧

#### 1. 継続課題

研究代表者	課題(期間)	研究種目
舟島 なをみ	医療事故防止のための「看護職包括型患者安全教育推進システム」の開発(27~30年度)	基盤研究B
岩永 喜久子	チーム医療における高度実践看護師が担う看護専門外来システムの開発に関する研究(28~31年度)	基盤研究C
渡辺 弘之	ベトナムのハンセン病村に住む子どもたちの自立支援と社会的統合(28~30年度)	基盤研究C
石田 和子	がん化学療法に伴う妊孕性の低下におけるライフイベント支援モデルの開発とその評価(29~31年度)	基盤研究C
岡村 典子	感情を的確にマネジメントする為のスキル習得に向けた看護管理者向けプログラムの構築(29~32年度)	基盤研究C
中澤 紀代子	助産師基礎教育から臨床への連動を意識した分娩後出血に関する教育プログラムの開発(29~31年度)	基盤研究C
樺澤 三奈子	補助化学療法を受ける肺がん患者の倦怠感セルフマネジメント促進プログラムの臨床評価(29~32年度)	基盤研究C
高柳 智子	脳血管疾患患者の移乗時見守りから自立へのプロセスを支援するケアプロトコルの開発(26~30年度)※延長承認	基盤研究C
天谷 まり子	妊娠糖尿病(GDM)妊婦における食事療法の適応状態に関する評価尺度の開発(29~31年度)	若手研究B

#### 2. 新規採択課題

研究代表者	課題(期間)	研究種目
境原 三津夫	小児病院におけるファシリテッドツグ導入促進のために一細菌学的視点からみた安全性一(30~32年度)	基盤研究C
小野 幸子	看護基礎教育課程における高齢者支援のための多職種連携教育の構築(30~32年度)	基盤研究C
飯吉 令枝	豪雪地域高齢者の運転免許返納後の健康・生活行動の維持とその要因に関する縦断的研究(30~32年度)	基盤研究C
河原畑 尚美	看護基礎教育における高齢者のケア倫理教育プログラムの開発(30~32年度)	基盤研究C
徐 淑子	ハーム・リダクションと薬物依存者への社会的ケア:東アジアへの影響、移入、展開(30~32年度)	基盤研究C
舟島 なをみ	問題診断克服型FDモデルの開発-教員の研究指導能力向上を目指して(30~32年度)	挑戦的研究(萌芽)
藤田 尚	古代人における疾患の解明と看護・介護の復元(30~31年度)	挑戦的研究(萌芽)
酒井 禎子	化学放射線療法を行う高齢がん患者の「食べて動ける力」を支える集学的ケアモデル構築(30~32年度)	若手研究
野澤 祥子	成人先天性心疾患患者のための相互補完型の教育を応用した就労支援モデルの開発(30~33年度)	若手研究



# 学生生活アンケート

## Q お昼何食べてる？

普段学生がどのような大学生活を過ごしているのが紹介したいと思います。

今回は、「看護学生の食事をのぞきみ!!お昼何食べてる?」として、新学期が始まって1か月、学生たちはどんなものを食べているのかを調査しました。今回は、262名の学生に協力いただきました。ありがとうございました!!



### 第1位 手作り弁当 新生活で節約も兼ねてか、手作り弁当が多かったですね。



### 第2位 コンビニや総菜



大学のコンビニはいつも長蛇の列! 人気です。

### 第3位 学食



一人暮らしだと、学食の定食を食べて栄養バランスをとっているという人も。

## POINT

みんな、ちゃんとお昼食べていますね!三食きちんと食べて、勉強するエネルギーにしましょう。単品だった人は、野菜や肉のバランスを考えて一品加えるようにしてみましょう。

保健指導員 高塚 麻由

## 継燈式

## 継燈式を終えて

継燈式実行委員長 2年生

本学では継燈式を生徒の自主性のもと行っております。実行委員会を中心に先輩、後輩、教職員の皆様のお力添えのおかげで、継燈式を成功に修めることができました。

継燈式は、看護師を目指す私たちにとって自らの覚悟を示す場であると位置づけております。一人一人が思い描く理想の看護師を目指し、これまでの学びを生かし、演習や実習に真摯に取り組んで参ります。

私たち2年生は7月より、基礎看護学実習Ⅱに臨みます。1年次に行ったふれあい実習では、高齢者との交流を通じて看護におけるコミュニケーションの重要性や、地域の特色を見きわめ、その地域に根差した看護が重要であることを学びました。また、基礎看護学実習Ⅰの見学実習ではこれまで学んできたことが臨床の現場ではどのように活用されているのかを生で見るこ



でき、より一層学びを深めたいという意欲が湧いてきました。今回、初めて患者様を受け持つ実習ということで、不安と緊張で胸がいっぱいです。しかし、これまで培ってきた知識と技術を生かし、患者様へより良いケアを提供するためのより実践的な知識や技術を臨床の現場で学んでいきたいと思

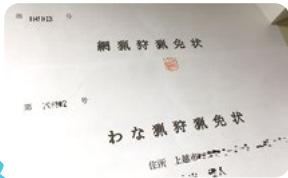
継燈式での決意表明を胸に刻み、向上心も持ち、常に患者様にとって何が最善であるか考え続ける姿勢で、今後の学習と実習に臨んで参ります。これからも皆様の変わらぬご支援をよろしくお願

## 研究室訪問

みなさん、研究室を訪ねたことはありますか？

学生のみなさんにとって、研究室はどのような存在でしょうか。研究室の前で名前と在室の有無を確認したら一呼吸おいて、「トントントン」とドアをノック。「はあ〜い。どうぞお〜」の声が聞こえたらしめたもの、「失礼しまあ〜す。〇〇で〜す。」とお目当ての先生に辿りつきます♪先生に笑顔で迎えられる時にはちょっとほっとして、楽しく嬉しい時間を期待しますね。ということで、今回は2回目となる「研究室訪問」では、あらたな先生の研究室を訪ねました！さまざまな角度から先生を切り取り、みなさんに紹介します。いつもとは違った発見があるかもしれません♪

さて、今回訪問する研究室はこちら!!



ん?!んん?!なんだ!この資格?!なんとまだ1年生しかその正体を知らない!!さて、まだ知らないという皆さん。この資格を取得した先生は誰だと思えますか？

なぞの資格を持つ先生の研究室をさらに覗くと…



これを見れば一目瞭然♪家族の愛に支えられ毎日幸せいっぱい♡情報科学の「永吉雅人研究室」にお邪魔していま〜す。『わな猟狩猟免許』を持つ永吉先生。なぜ免許を取ったのですか？

[狩猟 × 命]

子どもたちを含む家族みんなが『命の大切さを学ぶこと』、また『本当にカラダに良いものを食べてみたい!』への情熱です!初めて仕留めたのは昨年11/29 いい肉の日で、80キロ超の2才の雄猪でした。命のやり取りをして口にした肉は“めっちゃくちゃ”美味しく満たされました。本物の食べ物は”無駄にはできない”思いを教えてくださいました。買の種類には「くくり罠」というのがあって…

…ということで、長くなりそうなので続きはみなさんが研究室訪問してくださいね!

ところで情報科学って何?看護職になるのにどんなふうに必要なの?簡単に教えてください!

[学ぶ × 知識道具] この時代を生きていくのに必要な知識。つまりそれは看護学を『学ぶ』ために必要な知識道具です♪

こんなひと言なのにならわりやすい!情報科学が身近になりました。

あれあれ、専門ゼミが始まりそうです。ゼミの学生さんにちょっと聞いてみましょう。「永吉先生の魅力は?」

[永吉先生 × 優しく親身]

「優しいところ!えーっと、うーんと…、はじめは看護系ゼミでないため少し気がかりに思っていました!が、研究では次にやることをはっきり示してくれますし、的確なアドバイスをもらえるので、とても優しいと感じています。」と丸山さん。大須賀さんも、「親身になってくれます。ゼミだけでなく学生生活、就職、国試などなんでも相談に乗ってくれますし、声を掛けてくれるので心強いです!」とゼミ生2人からは優しさ溢れる永吉先生の魅力が明かされました。



ゼミ生の丸山さん、大須賀さん、貴重な情報をありがとうございました。

さて。担任をすることが多い永吉先生。看護職を目指す学生にどのようなことを期待して授業していますか?

[個性 × 生きているということ]

学外オリエンテーションでは1年生それぞれの個性がよく見えます。その個性が残るよう型にはまらず自由度を広げながら育てて欲しいと願っています。のびのびとした個性豊かなパフォーマンス、つまりそれはその人が“生きている”ということだからです。

看護にかかわる学生への深い愛情が感じられます☆



ここでちょっと永吉先生の研究の世界も覗いてみます♪

[強化学習 × Deep Learning]

探究していることは『人間の理解』。どうやって人は学習するのか。どうやってうまく適応するのかを切り口としたものです。囲碁や将棋の人工知能といったイメージつくでしょうか。

健康に関する研究にも取り組む永吉先生。  
ご自分の健康にも気をつけているところ発見!  
バーベル、ちゃんと上げていました!



以上で、永吉研究室訪問は終わりです。たくさんお話くださりありがとうございました!次回はどの先生の研究室にお邪魔するかお楽しみに…。



# オープンキャンパス

新潟県立看護大学が「どんな大学か?」を知りたい皆さんのために、オープンキャンパスを開催します。

例年、体験講義・演習や在学生との懇談など、多彩なプログラムで実際に見て、聞いて、触れて、体験していただく内容となっています。

受験を間近に控えた高校3年生はもとより、社会人入学をお考えの方、保護者の方、看護系大学へ将来進学を考えている高校1・2年生も大歓迎です。ぜひご参加ください。

日 時	平成30年8月6日(月)、8月20日(月) 各日とも11:00~16:00 (受付は10:00から)
開催内容	<p><b>体験学習ありのコース（じっくり体験したい方向け）</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【午前】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大学・入試等の概要説明 ○資格取得説明</li> <li>○卒業生からのメッセージ など</li> </ul> <p><small>※体験学習なしのコースと共通の内容です。</small></p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>→</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【午後】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○在学生との懇談・学生活動紹介</li> <li>○体験講義・演習</li> <li>○施設見学</li> </ul> <p><small>※上記3つはコース別(A~F)に分かれて体験していただきます。</small></p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>→</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個別相談 (入試、学生生活、奨学金、就職等)</li> </ul> </div> </div> <p><b>体験学習なしのコース（概要をつかみたい方向け）</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【午前】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大学・入試等の概要説明 ○資格取得説明</li> <li>○卒業生からのメッセージ など</li> </ul> <p><small>※体験学習ありのコースと共通の内容です。</small></p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>→</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【午後】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個別相談 (入試、学生生活、奨学金、就職等)</li> <li>○模擬講義</li> </ul> </div> </div>
申込方法	<p>事前予約が必要です(付添の方も予約が必要)。ホームページ、電話、FAX、メールのいずれかでお申し込みください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: 30%; color: red;"> <p><b>体験学習ありのコースについて</b></p> <p>演習での安全確保のため、参加者は210名限定・先着順とします。また、コースは第1希望から第3希望までとなりますが、ご希望に沿えない場合があります。</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 30%; color: blue;"> <p><b>体験学習なしのコースについて</b></p> <p>定員はありません。</p> </div> </div>
申込期限	開催日の1週間前まで。希望者多数の場合、期限前に受付を終了する場合があります。
問い合わせ先	電話:025-526-2811 FAX:025-526-2815 E-mail:kyoumu@niigata-cn.ac.jp

※詳細は大学ホームページをご覧ください。http://www.niigata-cn.ac.jp/

## いきいきサロン

地域の皆様が気楽に集い、お茶を飲みながら健康について学ぶことを目指す「いきいきサロン」も10年目を迎え、今年度の第1回目は5月17日(木)に開催されました。「予防可能な認知症は予防しよう~今からでも間に合う予防活動~」のテーマで、本学老年看護学小野幸子教授にお話しいただきました。当日は183名の方達にご参加いただき、和やかな雰囲気の中で認知症予防についてわかりやすく教えていただきました。

8月以降のいきいきサロンは、以下のような日程になっています。皆様も日々をいきいきと過ごすためのヒントを得るためには是非越し下さい。



日 時	テーマ	講 師
9月20日(木) 18:30~19:30	低栄養を学ぼう~これから始める予防法~	けいなん総合病院併設はねうまの里 管理栄養士 菅野 さとみ 先生
10月18日(木) 18:30~19:30	生活習慣病について	上越地域医療センター病院 院長 古賀 昭夫 先生
11月15日(木) 18:30~19:30	『ストレス』と上手に付き合うには	新潟県立看護大学 学生相談カウンセラー 臨床心理士 多門 敬子先生



新潟県立看護大学  
Niigata College of Nursing

〒943-0147 新潟県上越市新南町240番地  
Tel 025-526-2811 Fax 025-526-2815  
E-mail soumu@niigata-cn.ac.jp

編 集  
後 記

本号では、新入生を迎えた大学の様子を盛りだくさんでお伝えしました!前回からシリーズとしている学生アンケートや研究室訪問はいかがでしたでしょうか。これからも大学のことをもっと知っていただけるよう企画していきたいと思っております。次回もご期待ください!

川野、後田、高塚、杉田、石岡

<http://www.niigata-cn.ac.jp/>

発行日:2018年7月26日